

intloop

×



High Performer
Consultant

RPAの概要と導入アプローチ

目次

1. RPAの概要と導入状況
 2. RPA導入のアプローチ
 3. INTLOOPのRPA導入の強みと実績
- 

1. RPAの概要と導入状況

2. RPA導入のアプローチ

3. INTLOOPのRPA導入の強みと実績

RPAにより実現できること

企業に存在する膨大なマニュアルワークを圧倒的なスピード・正確性でロボットが代行することで、人によるオペレーションのスピード・品質・コストの問題を根本的に解決可能

企業内に存在する膨大なマニュアルワーク



経理

- 現預金残高照合
- 売上入力・売掛金消込
- 交通費精算チェック



営業

- 売上レポート作成
- 商品マスター・受注情報などのシステム入力
- 請求書の作成



人事

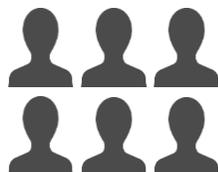
- 採用・退職者情報の入力
- 勤怠情報のチェック
- 人事評価の集計・レポート



その他

- システム入力作業
- データ収集
- 報告書の作成

従来の労働集約型の方法



スタッフ

情報処理能力が低い

労働時間に制限がある

処理にムラがある

業務量増加に増員で対応

労務管理や場所が必要

RPA



ロボット

情報処理能力が高い

働き続ける

処理が均一で正確

業務量増加しても増員不要

辞めない、場所も不要

- 業務量に応じて増加する**人件費**が経営を圧迫する
- 集計に時間がかかり、**経営情報をタイムリーに把握できない**
- 入力ミス・転記ミスなど、**業務品質が担保できない**
- 業務が**属人化・ブラックボックス化**してしまう
- **業務量増減の波動**に対応しきれず、サービスレベルを担保できない

- 24時間動き続けることで、**企業のオペレーションを数倍加速化**
- 情報を素早く収集・集計し、**今間で見えていなかった情報をタイムリーに提供**
- 業務量の増加に**低コスト**で対応
- 業務**品質を高いレベルで平準化**

RPA導入の動きと期待効果

既に、RPAの活用により大きな効果を実現している企業も少なくない

朝日火災海上保険

- 2018年1月より、トライアルとして契約者向け入金関連業務や専用システム・Excelへの入力、データ集計など、8業務の自動化に取り組んだ。これにより既に**年間1,700時間以上の削減効果、業務時間の1/7への短縮効果**を見込んでいる
- 本格導入では、2018年上期には、入金や精算、経理、営業実績に関わる書類作成など29業務にRPA適用を予定しており、期待される**削減効果は年間7,000時間**に上る

オリックスグループ

- 2016年4月からレンタカー業務を対象に、RPA適用のための概念実証を実施。これまで**3か月間で8件程度あったミスが皆無に、1件当たりの処理コストも160円から28円へと約8分の1**に低減
- 車両の予約・確保の事務作業についても、従来の人手作業では処理件数に限界があるため納期ルールを設定していたが、**ロボットが24時間作業することで～日前予約という制限が不要となり機会損失を削減した**
- 今後は**1か月当たり30人月の削減**を目標に、ロボットの開発または人とRPAとのハイブリッド運用に取り組んでいく計画

電通

- 2017年春からRPAの導入を開始。例えば広告媒体企業からメールで送付されるExcelシートの集計作業を自動化することで、従来は手作業で**3時間かかっていた作業が数秒で完了**
- 会計事務の月次処理や広告ターゲットの分析業務など、2017年末までに約400の業務工程を自動化し**月間で約12,000時間を創出**。2020年3月末までに**従業員1,500人相当となる300万時間以上の余力捻出を計画**している

RPAの進化段階と現状の実用化範囲

RPAには3つの段階があり、現在Class1のRPAの実用化・導入が進んでいる

RPAの進化段階のイメージ

	定型作業の自動化	非定型作業の自動化	自律的なRPA
特徴	<ul style="list-style-type: none">● 標準化された提携作業の自動化● RPA実装できない例外処理は手動対応が必要	<ul style="list-style-type: none">● 非定型業務の自動化● ディープラーニング等AIの活用	<ul style="list-style-type: none">● 強いAI（高度な人口知能）による、プロセス改善や意思決定まで含む自動化
主な適用対象	<ul style="list-style-type: none">● 情報の読み取り● システムへの入力● 検証作業● クローリング	<ul style="list-style-type: none">● 非構造化データの読み取り・処理● ビッグデータからのルール抽出や提案	<ul style="list-style-type: none">● プロセスの自律的な改善● 的確な自動意思決定● 極めて複雑性の高い処理
主な製品・サービスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none">● エクセルマクロ● RPAツール<ul style="list-style-type: none">- UiPath- BizRobo- WinActor：	<ul style="list-style-type: none">● Google● IBM Watson：	<ul style="list-style-type: none">● 実用化された製品はまだない

RPAの導入事例 1/2

確実にRPA導入企業が増えてきており、企業規模を問わず定型業務への導入が進んでいる

業務	企業	課題/ニーズ	RPAによる実施内容	導入成果
請求事務	日本生命 保険相互 会社	<ul style="list-style-type: none"> 保険契約者から郵送される保険金の請求書に記載されている証券記号番号を手入力する必要があるが、将来的な業務量増加に対応できるバックオフィスを、なるべく早く・効率的に構築する必要があった 	<ul style="list-style-type: none"> 担当「社員」として銀行窓販業務部門のある部署にRPAを導入 職員が請求書の証券記号番号をスキャンすると、ロボットがデータ収集からシステム入力までを代行 	<ul style="list-style-type: none"> 処理時間の短縮 (1件数分→20秒) 単純ミスの削減
	製造業A 経理部	<ul style="list-style-type: none"> 買掛金処理業務において、紙請求書を元に複数のシステムへの登録、転記を実施しており、以下課題が発生 <ul style="list-style-type: none"> 手作業による膨大な工数が必要 作業ミスや入力ミスが頻繁に発生 突発的に多くの請求書を受付ると残業が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 紙請求書をスキャン後、各システムへの転記・登録・印刷業務をRPAにて代行 	<ul style="list-style-type: none"> 作業時間を70%削減 コストを50%削減 作業品質を向上し、作業ミス・入力ミスを大きく削減
経費申請 管理業務	B社	<ul style="list-style-type: none"> 交通費精算業務において、社員から申請される申請金額チェックの必要は認識されていたが、人手を割くことが出来ず確認を行う事ができなかった 	<ul style="list-style-type: none"> Excelで交通費申請されたルートを中心に、Yahoo!路線情報から検索を行って交通費を取得して照合 相場より高額な申請をアラートすることによる申請の正当性を担保 	<ul style="list-style-type: none"> 従来、煩雑さや人手不足を理由に実現できていなかった業務の運用を実現し経費管理を適正化
人事 管理業務	社会保険 労務士 法人C社	<ul style="list-style-type: none"> 事務委託業務にて、社員および派遣スタッフの採用などの人事異動に伴い、各種申請等を行っているが、一定数の工数を情報の整理、各種システムの情報更新、内容問い合わせ、およびExcelの管理表更新に費やしていた 	<ul style="list-style-type: none"> 人事情報の更新を起点として、各システムに一括して情報登録・更新を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 50%程度の工数削減を実現 毎月対応していた社員を管理部門本来のコア業務へ

RPAの導入事例 2/2

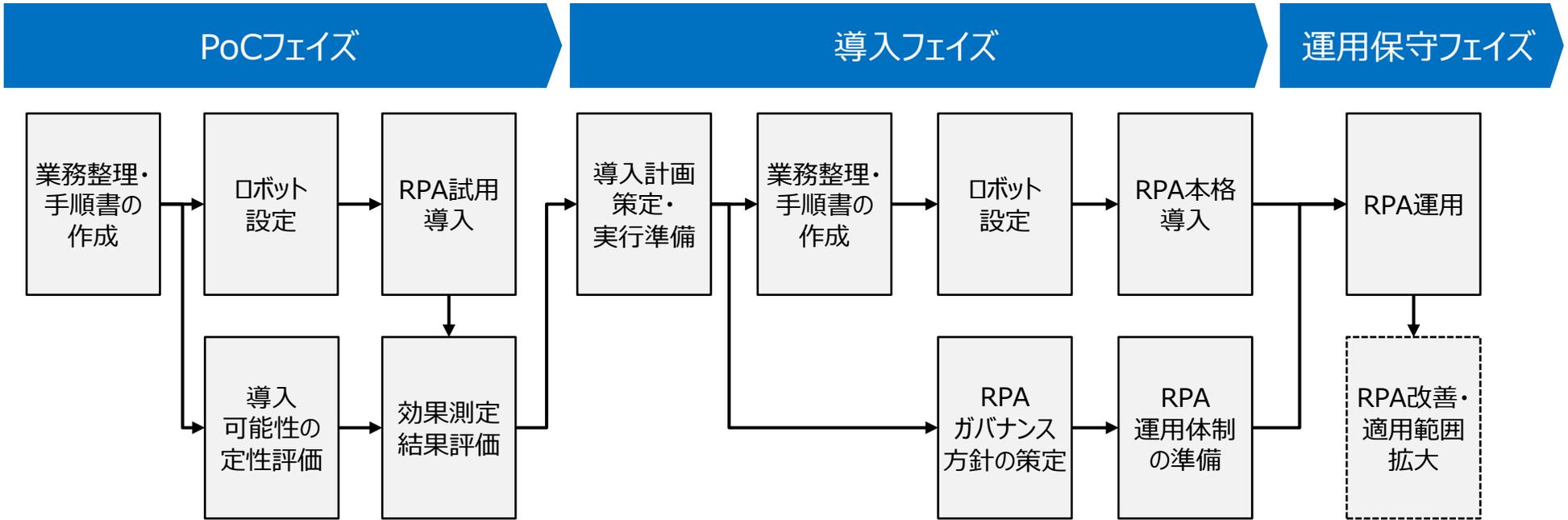
確実にRPA導入企業が増えてきており、企業規模を問わず定型業務への導入が進んでいる

業務	事例	課題/ニーズ	RPAによるソリューション	導入後の成果
営業・販売 業務	電子機器 販売D社	<ul style="list-style-type: none"> 定型的な製品保守契約において、契約更新時期の確認を怠ったことによる更新漏が発生していた また、個別契約案件の増加に伴い、定型的な見積/発注業務にかかる時間は最低限とし、効率化を推進する必要があった 	<ul style="list-style-type: none"> 保守契約更新時期に自動的に担当者/顧客へメール送信 特定の提供サービスにおける見積書/発注書の自動生成、メール送付 	<ul style="list-style-type: none"> 契約更新漏れの低減 作業時間の短縮
電子取引 業務	トリンプ・インターナショナル・ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> ECサイト運営において、増加する受注処理業務にオペレーションが追い付かず、発送遅れや作業ミスによりCS満足度が低下していた 	<ul style="list-style-type: none"> 社外のECサイトでの受注に対して、社内外のシステムをまたいで、発送に至るまでの受発注業務を一貫して実施 	<ul style="list-style-type: none"> 出荷スピードの向上や煩雑な作業ミスの削減によるCS満足度の向上
マーケティング	ユニリーバ・ジャパン カスタマーマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> 「各ECサイトの在庫、価格、ポイント還元率などの情報を取得し、自社ブランドサイト内に適切に表示する」機能の実現を検討したが、作業タスクは3,000以上あり、効率化と正確性向上が求められていた 	<ul style="list-style-type: none"> 既存のブランドサイト内に製品の価格を比較する比較ポータルサイトを新設 自社製品に関連する各ECサイトの情報の取得をRPAにより自動化し、リアルタイムで表示 	<ul style="list-style-type: none"> 作業時間短縮（3人で7日→半日） 単純ミスの削減
情報調査 業務	コンサルティングファーム E社	<ul style="list-style-type: none"> 情報調査を行い、効果的な施策立案を提案するために自社内外のWebコンテンツから情報を取得する必要があったが、調査業務に必要な情報がWeb上に大量に散在しており、集計作業に大きな労力を要していた 	<ul style="list-style-type: none"> 膨大なWebサイト掲載コンテンツに対し、特定の条件を設定して自動的にクロール、情報収集、データ加工、出力までを自動化 	<ul style="list-style-type: none"> データ集計の負荷が軽減されコストを削減 効果的な施策立案が可能に

-
1. RPAの概要と導入状況
 - 2. RPA導入のアプローチ**
 3. INTLOOPのRPA導入の強みと実績

RPA導入のアプローチ

RPAの本格導入前に、PoCによりRPA導入の導入効果や実現可能性の評価を実施することが重要。（以下はあくまでも標準的な流れを示したものです。導入企業の状況に応じたアプローチが必要）



- 限定したRPA化対象業務に対して、一定の期間内でRPAをテスト導入
- 導入前の人手と、RPAによる業務処理時間を比較しRPAの導入効果を測定
- 関連業務やシステムのRPA導入の観点から調査し、RPA活用の実現可能性を検証
- RPA製品はライセンス無償のものを利用

- 定型業務を対象とした本格的なRPAの導入
 - RPA化する業務範囲の明確化と要件定義
 - 適用業務、関連システムなどに応じてRPA製品を選定
 - RPAの実装、現場への導入
- RPA導入後のシステム開発プロセス、ITガバナンスへの影響を鑑み、RPA活用を前提とした新ITガバナンスを策定
- RPA運用体制確立に必要な人材・組織の設計

- 例外処理やRPA実行エラーへの対応
- 業務の変更、関連システムの改修などに対応した、RPAロボットの改修
- RPA導入効果の検証・モニタリングと、適用範囲拡大の検討

導入成功のポイント

1. 進め方

- RPAツールの導入にとどまらず、業務改革・業務標準化の視点を取り入れる
- 業務の特性、関連システムの特性を的確に把握し、RPA導入の実現可能性を判断する
- 効果の最大化を図る

2. RPAの管理・運用体制の構築

- EUCの様なブラックボックス化の防止につながる推進体制・ガバナンスの構築
 - 専門組織の構築 or 各部門でのエバンジェリスト育成
 - 従来のシステム開発とは異なるガバナンスの検討
- ロボットナレッジの一元管理
- PDCAサイクルを通じたロボット人材育成
- リスク・コンプライアンス対応

3. RPAツールの適切な選定

- BizRobo!、UiPath、WinActorなど

4. RPA時代の人材提供・育成

- RPA等を使いこなす人材育成を見据えての導入が必要となっている
- スキルの例業務分析・設計スキル、テクノロジー理解・設計スキル、ユーザーニーズの理解・分析からRPA施策の活用企画スキル
- 育成に時間を要するため初期フェーズでは外部人材の活用も視野に

-
1. RPAの概要と導入状況
 2. RPA導入のアプローチ
 - 3. INTLOOPのRPA導入の強みと実績**

RPA導入に関するイントループの強み

RPA導入の実績

- 飲食店チェーンにおける本部管理業務、シェアードサービス企業における人事関連業務など、RPA導入の実績を豊富に有しています
- 大手企業におけるRPA導入にあたってのITガバナンス検討など、エンタープライズでのRPA導入テーマ検討の実績を有しています

BPRなど業務改革のコンサルティング経験

- 多数の企業様に対して、BPRや業務改革のコンサルティング経験を有しており、業務改革の推進やプロジェクトマネジメントの経験を豊富に有しています
- 業務のRPAによる効率化を業務全体の最適化というより高い視座から見ることで、RPA活用の効果を最大限に発揮するご提案をいたします

適材適所体制による 伴走型の支援

- 戦略の実行・組織への定着化にあたっては、貴社の戦略推進部門の主体的な関与・実行へのコミットメントが必須となるため、コンサルティング会社に大きく依存する形は推奨いたしません
- 弊社は、状況・フェイズに応じて必要なスキルを持った人材を柔軟にアサインし、適切・無駄のない体制を構築し、貴社に伴走し戦略策定・実行をご支援いたします

弊社実績①： 中規模飲食チェーン 店舗業績資料作成のRPA化

概要

【企業概要】

- 飲食店チェーン（従業員数：450名、店舗数：95店）

【RPA化の内容】

- 経営管理部門担当者が、前日の店舗売上、仕入、人件費を各システムからダウンロードし、月間の店舗業績資料を更新
- 本来は毎日午前、POSサーバー、仕入システム、勤怠管理システムより前日データをダウンロード、集計の上、業績管理資料を作成するものであるが、資料作成に多大な時間を要するため、月末に月次業績資料のみ作成していた
- これらの一連のシステム操作を全てRPAにより自動化したことで日次把握が可能になった。以下業務をRPA化
 - POSサーバーから売上情報をダウンロード
 - 仕入システムから仕入情報をダウンロード
 - 勤怠管理システムから人件費情報をダウンロード
 - 全てのCSVファイルを集計用のExcelに貼り付け
 - 集計用Excel内のピボットテーブルを更新して当月実績最新化
 - 集計日の店舗実績資料としてファイルを保存

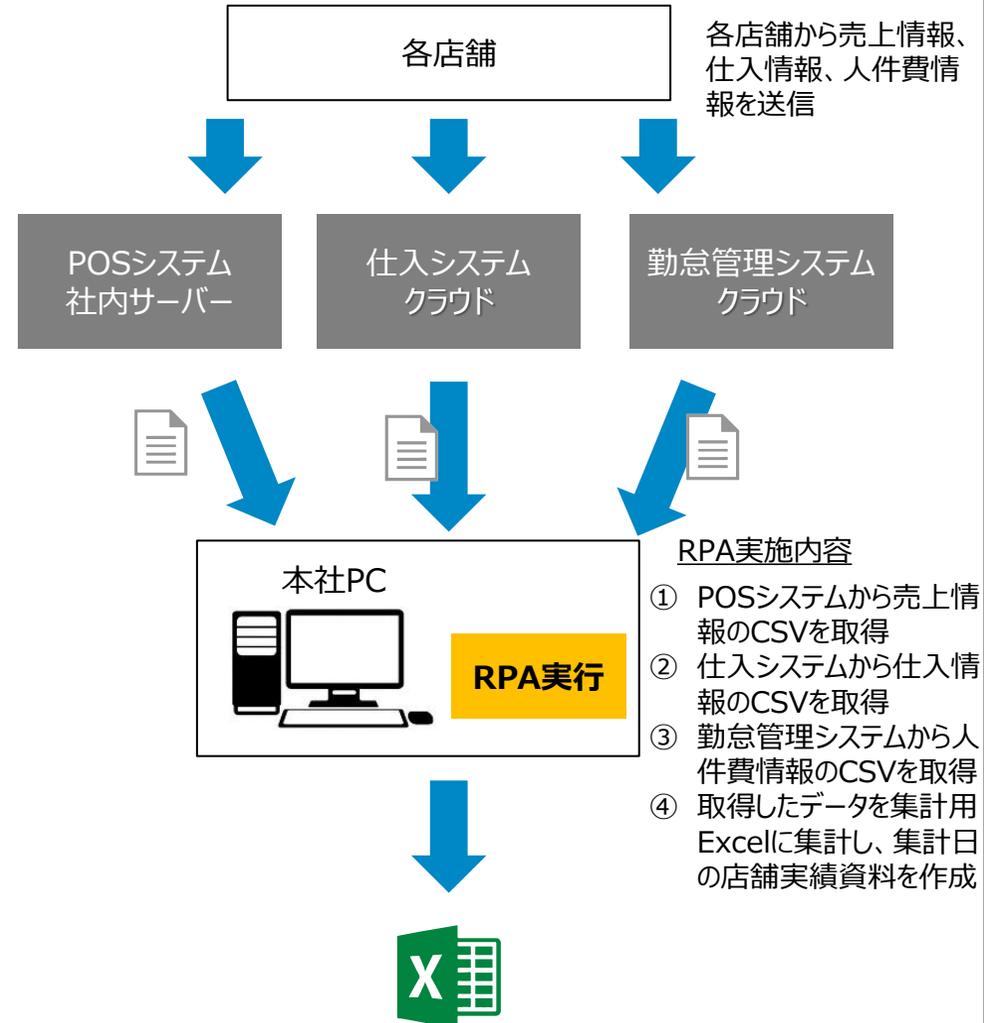
導入効果

- 店舗業績資料の作成を3時間から10分へ削減（約95%削減）

RPA化の要点

- RPA接続のために、POSシステムの保守ベンダーへのシステム情報の事前ヒアリングによる業務整理を緻密に実施した

導入イメージ



弊社実績②：

中規模飲食チェーン 36協定違反者お知らせメール送付のRPA化

概要

【企業概要】

- 飲食店チェーン（従業員数：450名、店舗数：95店）

【RPA化の内容】

- 36協定違反もしくは抵触する可能性のある従業員について、総務課長が管理職に対して対処を求めるメールを送信する業務
- 毎週月曜日午前、勤怠管理システムより打刻データをダウンロードして集計を行い、エリア・部門ごとに勤怠状況を示す資料を作成し、各店舗のエリアマネージャー等管理職に対してメールを送信していたが、送信メールの作成までの業務を自動化した（メール送付は、手動で実施）
- 以前は、手作業で実施していた以下業務をRPA化またはExcelマクロ化<RPA化対象業務>
 - 勤怠管理システムから条件（期間、エリア、社員区分）を指定し、打刻データをダウンロード
 - 以下のExcelマクロ化対象業務のExcelマクロを実行<Excelマクロ化対象業務>
 - テンプレートとなるExcelに打刻データを貼り付け、エリア単位で条件を切り替えて報告用資料PDFを出力
 - 各管理職別にメールを作成し出力したPDFファイルを添付

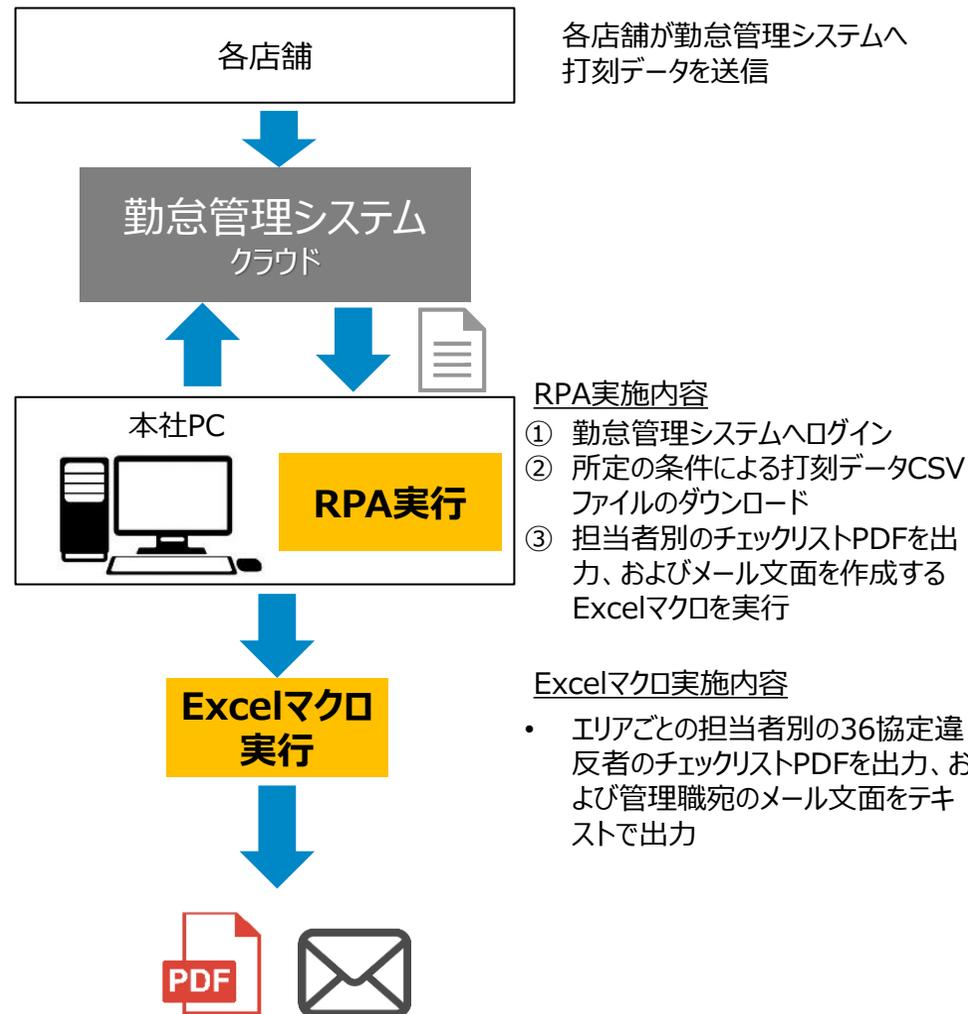
導入効果

- 従来、管理部門担当者が毎週150分（15分/人×10地域）掛けていた業務を30分に削減（**80%の削減**）

RPA化の要点

- RPAのみで全てを実装するのではなく、Excelマクロによる組み合わせで、より迅速な自動化を実現した

導入イメージ



弊社実績③：小規模社労士法人 社会保険手続き業務BPOのRPA化

概要

【企業概要】

- 社労士法人（従業員数：20名程度）

【RPA化の内容】

- RPA化の対象業務は、社会保険手続きに関する代行業務（社会保険または労働保険の資格取得・資格喪失の手続き）
- 1日15～20人分程度の依頼があるが主担当者が1人しかおらず、1日5～10人分程度の登録しかできていなかった
- 入力ミスが多発し、他の担当からのヘルプを恒常的に必要としていた
- 以前は手作業で実施していた以下の業務をRPA化
 - 業務受託元企業から各種台帳（エクセル・PDF）を取得し、1つのリストに統合
 - 取得情報に不足・誤りがないかを確認。問題がある場合は、業務委託元に自動メール通知
 - 取得した情報をWEBベースの人事労務システムに登録
 - 登録した情報の電子データを役所へ申請（電子申請）

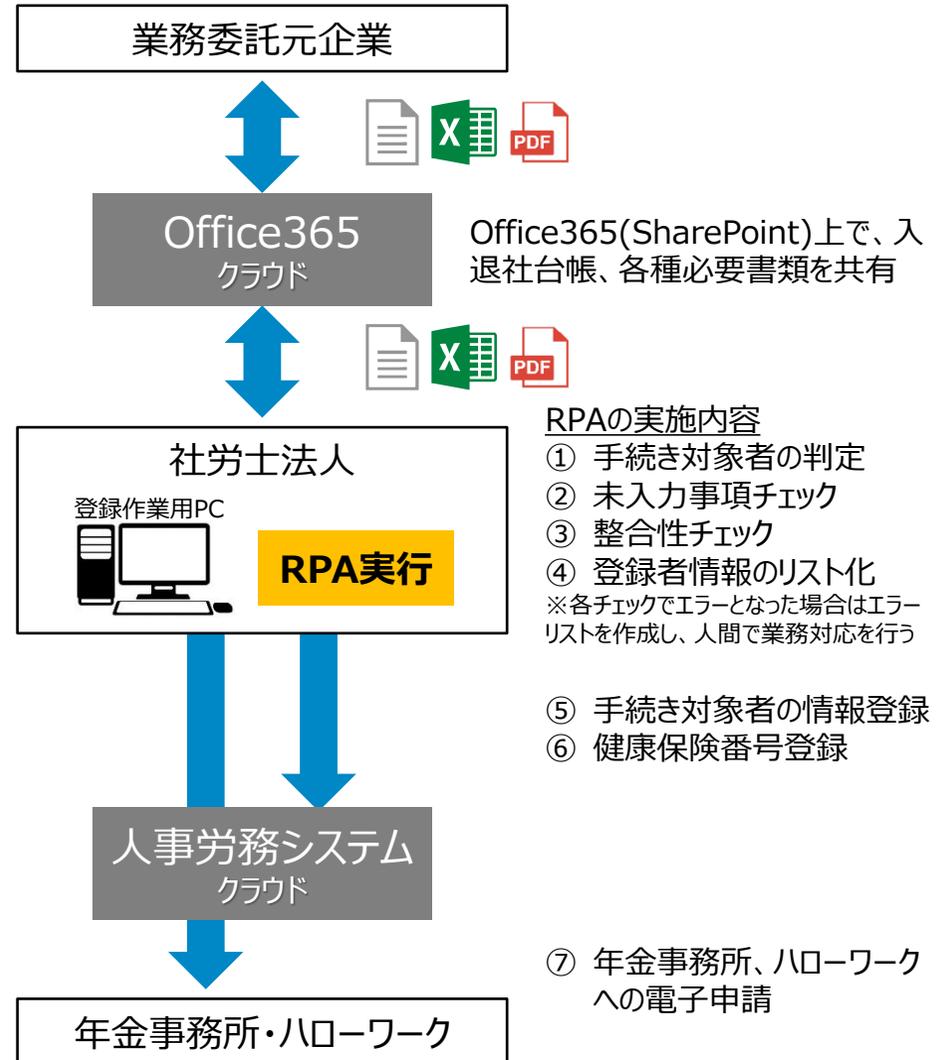
導入効果

- 15～20人分の登録手続きを1名の担当で実施可能となった
- 手入力作業による作業ミス削減
- 業務のルール化・標準化による業務品質向上

RPA化の要点

- 担当者により属人的な業務および個別ケースでの判断の業務整理を緻密に実施

導入イメージ



弊社実績④： 当社人材系データベース一元化作業のRPA化

概要

【企業概要】

- INTLOOP（従業員数：約100名）

【RPA化の内容】

- 人材系クラウドデータベースへの登録の入り口となるWebシステムを自社で構築・管理、その他の人材登録システムも存在するため、両システムから情報を抽出・統合したデータベースとしてGoogleスプレッドシートを利用
- それまでクラウドデータベースの情報を目視で確認の上、スプレッドシートに転載していたが、入力忘れ・重複入力・特定の担当者による属人的な作業になりつつあり、次第に日々の業務に支障が出るようになっていった
- RPAソリューションだけでなく、GoogleAppsのスクリプトを利用するなど、各ツールが得意とする処理や機能を利用することのみに特化させ、各アプリケーションの操作のみをRPAで実行、一連の操作をシリアライズすることにより、1日3回のチェックおよびデータの出力・投入が可能となり、業務の滞りも解消した

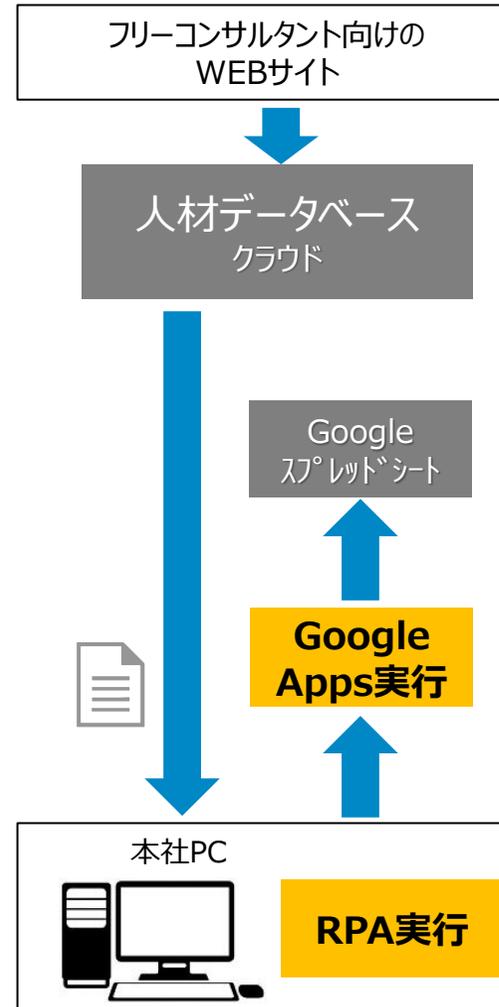
導入効果

- 入力忘れ・重複入力・特定の担当者による属人的な作業になりつつあった作業が不要となった
- 手入力作業による作業ミス削減
- 夜間作業化にさせたことにより、翌日始業時には最新の情報を元にした営業が可能となり、顧客への対応の質が向上した

RPA化の要点

- RPAソリューション一本槍で業務の自動化を進めるのではなく、機能別に優れた複数のアプリケーションをRPAによって連動させた方策

導入イメージ



人材系クラウドデータベースへの登録の入り口となるWebシステムを自社で構築・管理
人材のマネジメントはクラウドのパッケージサービスを利用

RPA実施内容

- ① 人材データベースにログイン
- ② 所定の条件によるデータベースCSVファイル(差分)のダウンロード
- ③ Googleドライブに、CSVファイルをアップロード
- ④ GoogleAppsでスクリプトを実行、重複データの削除を実行
- ⑤ Googleスプレッドシート上にデータを反映

弊社実績⑤：

運輸企業 BPOセンター通勤手当申請内容確認のRPA化

概要

【企業概要】

- 運輸業（従業員数：数千人(グループ全体：数万人)）

【RPA化の内容】

- 人事系基幹システムに登録された社員情報(現住所・勤務先住所・各最寄駅)と、各社員の通勤手当申請内容の妥当性チェック業務
- 各種申請内容のチェックや申請書類の管理など、グループ各社のバックオフィス業務を集約したBPOセンターに業務委託をしており、人事異動等で年度始まりに処理の負荷が増大していた
- チェックした証跡を正確に残す必要があり、Webでの地図機能や乗換え検索機能を画像で印刷するため、ExcelリストからWeb上の項目への転記・印刷作業が膨大であった
- 以前は、手作業で実施していた以下業務をRPA化またはExcelマクロ化
 - 現住所・勤務先住所の一覧化の後、RPAでデータを抽出しWeb上で地図経路検索結果を画像ショットで電子ファイルとして保存
 - 路線を利用者の最寄駅から最安経路の結果を電子ファイルとして保存
 - VBAによる電子ファイルチェックと一括印刷

導入効果

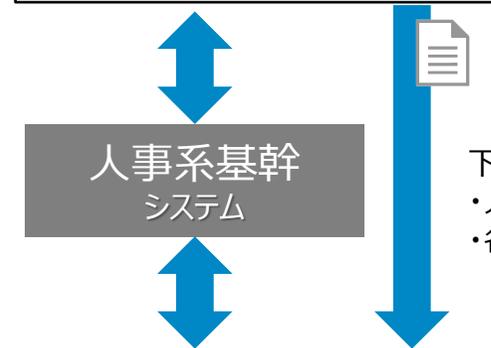
- ピーク時100人体制でのチェック作業を数名の担当者で実施可能となった
- 手入力作業による作業ミス削減
- 印刷作業を業務時間中から夜間にシフトさせることでの時間の有効活用

RPA化の要点

- BPO業務であったため業務フローが確立されていたため低コストでRPA導入が出来た

導入イメージ

業務委託元企業



業務委託元企業(総務部)

- 下記 2 点のチェック作業を代行
- ・人事系基幹システムの情報参照
 - ・各種申請書類を送付

RPAの実施内容

- ① リスト化された社員の住所・最寄駅の抽出
- ② Web上で経路検索および地図検索
- ③ 画像ショット取得
- ④ 電子ファイルに保存
- ⑤ VBA機能を利用して一括印刷

弊社実績⑥ : 電機メーカー 仮出金未精算者フォロー業務RPA化

概要

【企業概要】

- 電機メーカー

【RPA化の内容】

- RPA化の対象業務は、仮出金後期限を超えて未精算となっている本人と、その上司への督促メールを発信する業務
- 経理業務本部と各会計本部が、それぞれ独自に未精算者のリストをダウンロードし、督促対象者リストを作成してメールを発信していた。督促対象者リストの作成やメール発信は、本部や拠点で統一されておらず独自のツールを利用したり、手作業で加工・発信したりとバラバラだった
- 督促メールを発信するために行っていた以下の業務をRPA化
 - 経費精算システムから未精算者情報をダウンロード
 - ダウンロードデータのうち精算予定日を超えている人を抽出
 - 異なるシステムやいくつかの関連システムにログインし、権限マスタや、関連マスタを参照し、上司のメールアドレスを特定・取得
 - 未精算者督促対象リストを作成・保存
 - リストにある対象者へ督促メールを発信
(過去3日間以内に送信している対象者は、連続して督促メールを送らないように判断)

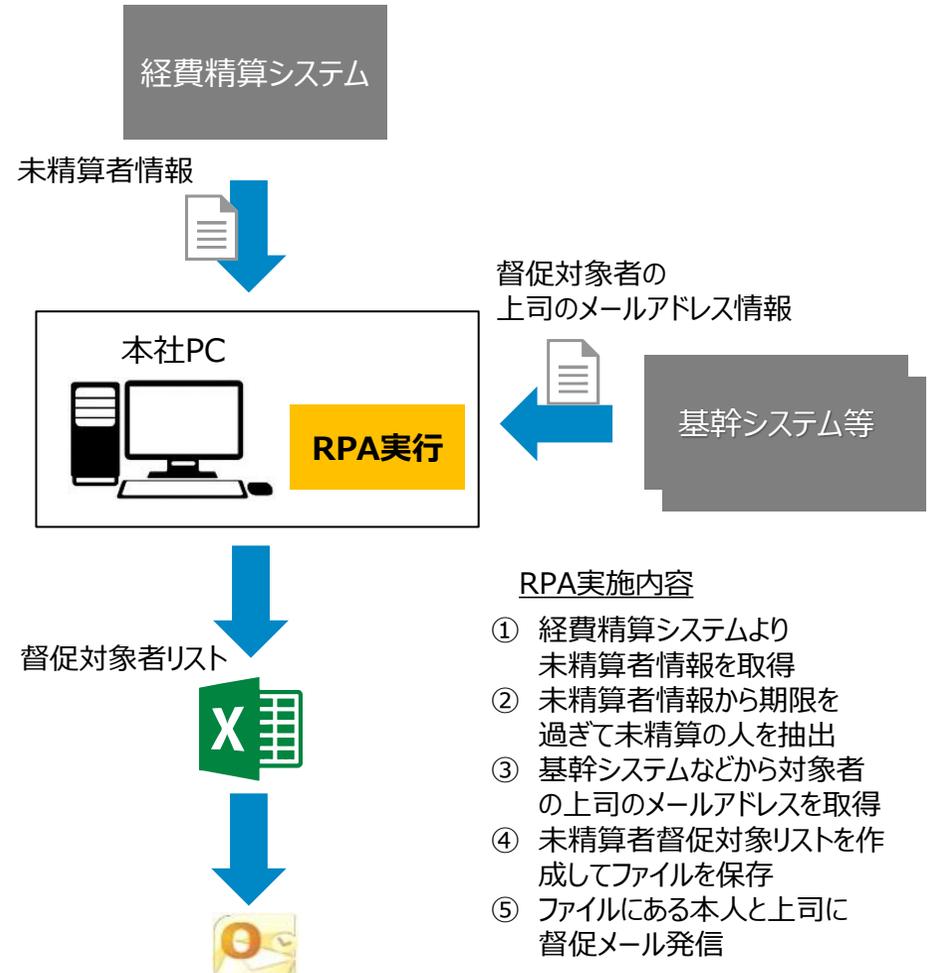
導入効果

- 2時間/日 * 本部1と各会計本部 4 の、合計10時間が完全自動化
(100%削減)

RPA化の要点

- RPA化対象業務を事前に標準化・効率化したうえでRPAを適用することにより、重複業務を削減し、RPA化による効果が最大化された

導入イメージ



INTLOOPについて

さまざまな経営課題の解決を支援するコンサルティング事業を主軸に、テクノロジーを駆使しビジネスモデルの変革を目指すデジタルトランスフォーメーション事業、システムの開発・導入を支援するテクノロジーソリューション事業、専門性の高い人材をご紹介する人材ソリューション事業の4事業を柱に事業を展開。

常にお客様の視点に立つことを第一義に考え、お客様の課題に対して最適なソリューションを提供し続けています。

お問合せ

下記フォームよりお問合せください。

<https://www.intloop.com/contact/general/>

記載の企業ロゴデザインについて

記載している企業のロゴ、商標は企業が提示しているガイドラインを確認したうえで記載しています。デザイン、商標についての著作権は、それぞれの企業に帰属しています。

免責事項

この文書に記載されている情報は一般的なものであり、特定の個人や組織に対するアドバイスを提供するものではありません。掲載情報の正確さについてできる限りの努力をしていますが、その正確性や適切性を保証するものではありません。何らかの行動をとられる場合は、本資料の情報のみを根拠とせず、専門家による適切な分析・アドバイスをもとにご判断ください。当資料を用いて行う一切の行為、被った損害・損失に対しては当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。当資料の著作権は当社にあります。当資料の転載、流用、転売など、ダウンロードされたご本人様以外のご利用は固くお断りさせていただきます。